

主催 一般社団法人 日本文化創造研究所

後援 文化・芸術三田会
企画・運営 YHIAISM株式会社

いろはにほへと

弦楽四重歌曲集

Irohanihoheto Songs for mezzo-soprano and string quartet

令和四年 八月 十四日 日曜日

開場 午後 二時三十分 開演 午後 三時

於 ヤマハホール(東京都中央区銀座)

文化庁



AFF2
ARTS for the future 2

メゾソプラノ 山下裕賀

ヴァイオリン 石上真由子

ヴァイオリン 對馬佳祐

ヴィオラ 安達真理

チェロ 富岡廉太郎

作曲 松崎 国生

詩 川宮 史紀仁

プロデューサー 泉志谷 忠和



いろはにほへと

弦楽四重歌曲集

Irohahinoheto Songs for mezzo-soprano and string quartet



山下 裕賀 メゾソプラノ

京都府出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻を首席修了。学部卒業時に同声会賞、大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞、また武藤舞奨学金を得てウィーンへ短期研修。第23回友愛ドイツ歌曲コンクール学生の部奨励賞(最高位)。第21回コンセール・マロニエ21第1位。オペラでは、藝大定期オペラ《フィガロの結婚》ケルビーノ役でデビュー後、日生劇場にて19年《ヘンゼルとグレーテル》ヘンゼル役、21年《カブレーティとモンテッキ》ロメオ役、22年《セビリアの理髪師》ロジーナ役、藤沢市民オペラ《ナブッコ》フェネーナ役等に出演。その他のコンサートでは、ヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『第九』、ヴェルディ『レクイエム』、プロコフィエフ『アレクサンダー・ネフスキー』、バッハのカンタータ等でソリストを多数務める。NHK-FM『リサイタル・パッション』出演。東京藝術大学博士後期過程在籍。日本声楽アカデミー会員。今後の出演予定として、9月には東京都交響楽団の『グラゴル・ミサ』にてアルトソリストなどがある。

石上 真由子 ヴァイオリン

5歳からヴァイオリンを始め、8歳の時にローマ国際音楽祭に招待される。高校2年生で日本音楽コンクール等、国内外のコンクールで優勝・受賞多数。NHKクラシック音楽館、題名のない音楽会、NHK-FM名曲リサイタルやリサイタル・ノヴァ、ブラボー！オーケストラ等に出演。NHKテレビではドキュメンタリーや東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団との共演も放送された。東京都響、読響、東京響、日本フィル、関西フィル、大阪フィル、大阪響、京響、仙台フィル、ブラジヨフ国立交響楽団、東京シティ・フィル、セントラル愛知など、国内外で多数のオーケストラと共演。海外の音楽祭にも多数出演。長岡京室内アンサンブル、アンサンブル九条山メンバー。Ensemble Amoiseシリーズで室内楽公演をプロデュース。Music Dialogue、CHANEL、京都コンサートホール、おん活アーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリティック・クラブ賞 奨励賞、大阪文化祭賞奨励賞、青山賞受賞。日本コロムビアより「ヤナーチェク:ヴァイオリン・ソナタ」、鈴木優人氏とのデュオアルバム「ブラームス:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番」発売中。公式ホームページ www.mayukoishigami.com

對馬 佳祐 ヴァイオリン

東京藝術大学を経てパリ国立高等音楽院ヴァイオリン科を首席で卒業。同音楽院修士課程室内楽科修了。第8回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。2010年フランス・バッハ国際音楽コンクール第1位。2014年リヨン国際室内楽コンクール・デュオ部門にて最優秀現代曲賞受賞。2016年ルーマニア国際音楽コンクールにてグランプリ(全部門最優秀賞)受賞。玉井菜採、田中千香土、ジェラルド・ブーレ、ボリス・ガルリツキーの各氏に師事。現在N響団友オーケストラコンサートマスター、ヴィルトス・クワルテット、東京バロックプレイヤーズメンバー。

安達 真理 ヴィオラ

東京を拠点に、ソリスト、室内楽奏者として幅広く活動するなか、2021年日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ客演首席奏者に就任し、ますますの活躍が期待されている。今年1月には『Winterreise』J.S. バッハ 組曲&パルティータ』に続いて三作目となる『MY DEAR』をリリース。2019年に若手音楽家の登竜門として知られるリサイタル・シリーズ、東京オペラシティ文化財団主催「B→C」に出演。その後も精力的にヴィオラ・リサイタルを開催し、コンセプトを大事にするユニークなプログラミングに定評がある。桐朋学園大学卒業、ウィーン国立音楽大学室内楽科を経てローザンヌ高等音楽院ソリスト修士課程修了と研鑽を積み、2013年からはインズブルック交響楽団にて副首席奏者を2年間務め、バンベルク交響楽団に客演したこともある。2016年よりパーヴォ・ヤルヴィ氏率いるエストニア・ウェスティバル管弦楽団に参加し、2019年の来日ツアーでは、各地で行われた全てのプレコンサートにおいて、五嶋みどり氏とモーザルトの二重奏曲を披露した。テレビ朝日『題名のない音楽会』などのメディア出演のほか、2019年には熊本城ホール開業記念公演で坂本龍一、藤原真理の各氏とピアノ・トリオを演奏し、その模様はNHK-BSプレミアムで放送され話題となった。オフィシャルサイト <https://www.mariadachi.com>

富岡 廉太郎 チェロ

1986年 札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て、パーゼル音楽院 MASP を修了。チェロを上原與四郎氏、毛利伯郎氏、弦楽四重奏を Rainer Schmidt 氏(ハーゲン四重奏団)に師事。2006年 ウェルズ弦楽四重奏団を創立。2007年 いしかわミュージックアカデミー IMA 音楽賞受賞。2008年 ミュンヘン ARD 国際音楽コンクールクアルテット部門で、日本人のみで結成されるクアルテットとしては、東京クワルテット以来38年ぶりの3位入賞を果たす。2010年 京都青山音楽賞受賞。2011年 パーゼルオーケストラ協会 (BOG) コンクールにて "ex aequo" 賞受賞。2011年 第7回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。2012年ドイツ・シュヴェツィンゲン音楽祭に出演、またその模様は南西ドイツ放送 (SWR) ラジオにて放送される。これまでにウェルズ弦楽四重奏団の活動や、主要オーケストラの客演首席を始めとし、国内外の多数のコンサート、音楽祭に出演。2014年6月から2017年3月まで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員首席チェロ奏者を務める。2017年11月より、読売日本交響楽団首席チェロ奏者。